

様式2(学融合レクチャーシラバス)	記載欄 ※申請時は日本語のみの記載で構いません。
授業名	大学院生のための教育の方法・技術(教養教育編)
Lecture title	
単位数	1
Credit	
担当教員	菊地浩平(学融合推進センター)、大石雅寿(天文学専攻)、木村暁(遺伝学専攻)、(七田麻美子)
Instructors	
授業概要	本授業は主に大学等において授業をすることを目指す方を対象に、基礎的な教育方法論・授業論を学び、自らの研究成果を効果的に授業にしていくための知識・技術・態度を身につけてもらうことを目的とします。 授業は講義と演出で構成します。事前に自らの研究を基にした授業計画案を持ち寄り、授業論に関する講義を受けた後、授業計画案をもとに、実際に授業を行ってまいります。
Abstract	
教育目標・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に授業を行う教員として必要な、基礎的な教育理論等を説明できるようになる。</li> <li>・大学等で行う教養科目・教養講座で授業を行う際に必要な、基本的な教育の技術を説明できるようになる。</li> <li>・大学等で効果的な授業を行う際の基本的な方法を使えるようになる。</li> </ul>
Learning outcome and objectives	
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前課題(授業案作成)(10%)</li> <li>・授業内課題(改訂授業案作成)(30%)</li> <li>・授業演習(40%)</li> <li>・事後課題(10%)</li> </ul>
Grading policy and criteria	
授業計画	<p>講義と演習</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1ガイダンス(授業論について 授業の進め方)</li> <li>2講義「教育方法の基礎理論」</li> <li>3講義「学習に関する理論」</li> <li>4講義「インストラクショナルデザインについて」</li> <li>5演習「大人の学びと授業」</li> <li>6演習「授業デザインとは何か」</li> <li>7講義「様々な授業実践」</li> <li>8演習「研究を授業にする」</li> </ol>
Schedule	
実施場所	長野県飯田市
Location	
使用言語	日本語
Language	
備考	キーワード: 授業論、教育方法、教育技術、教育工学、アンドラゴジー 二泊三日の集中講義です。長野県飯田市で合宿形式で行います。 事前課題として、自分の研究をもとにした、大学一年生対象の60分の授業案を作成してもらいます。授業内でブラッシュアップしたものをもとに、模擬的に授業をやってまいります。
Remarks	
対象年次	1, 2, 3, 4, 5
教科書・参考図書	<p>参考図書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『よくわかる授業論』 田中耕治編 ミネルヴァ書房</li> </ul>
Text and suggested readings	